

令和7年度

定例監査結果報告書

令和7年11月

香美町監査委員

(1) 令和7年度上半期行政会計収支状況

1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況

歳 入

(単位：千円、%)

令 和 6 年 度			令 和 7 年 度		
予 算 額	収入済額	収 入 率	予 算 額	収入済額	収 入 率
18,943,543	6,899,040	36.4	18,119,581	6,974,995	38.5
内明許繰越 1,486,303	内明許繰越 499,769	33.6	内明許繰越 1,030,892	内明許繰越 155,571	15.1
内事故繰越 30,410	内事故繰越 24,810	81.6	内事故繰越 5,742	内事故繰越 5,472	100.0

*千円単位とし、千円未満は四捨五入している。

収入済額は 6,974,995 千円で前年同期と比べ 75,955 千円(1.1%)の増、収入率では 2.1 ポイントの増となっている。

歳 出

(単位：千円、%)

令 和 6 年 度			令 和 7 年 度		
予 算 額	支出済額	執 行 率	予 算 額	支出済額	執 行 率
18,943,543	5,792,988	30.6	18,119,581	6,009,485	33.2
内明許繰越 1,486,303	内明許繰越 583,445	39.3	内明許繰越 1,030,892	内明許繰越 665,118	64.5
内事故繰越 30,410	内事故繰越 29,684	97.6	内事故繰越 5,742	内事故繰越 4,873	84.9

*千円単位とし、千円未満は四捨五入している。

支出済額は 6,009,485 千円で前年同期と比べ 216,497 千円 (3.7%) の増、執行率では 2.6 ポイントの増となっている。

2) 科目別歳入、歳出予算執行状況

歳 入

款別の状況は下表のとおりとなっている。

(単位：千円、%)

款	予 算 額	収入済額	収 入 率	前年度収入率
1. 町 税	1,625,100	844,601	52.0	51.4
2. 地方譲与税	172,251	57,597	33.4	34.9
3. 利子割交付金	3,000	1,172	39.1	39.1
4. 配当割交付金	16,000	4,199	26.2	33.8
5. 株式等譲渡所得割交付金	27,000	0	0.0	0.0
6. 法人事業税交付金	29,000	18,547	64.0	68.9
7. 地方消費税交付金	429,000	248,281	57.9	58.6
8. ゴルフ場利用税交付金	40	12	30.0	40.0
9. 環境性能割交付金	28,000	7,854	28.1	28.1
10. 地方特例交付金	6,861	4,861	70.8	97.1
11. 地方交付税	6,915,916	4,469,884	64.6	65.0
12. 交通安全対策特別交付金	3,000	1,029	34.3	36.3
13. 分担金及び負担金	116,854	8,966	7.7	6.5
14. 使用料及び手数料	119,704	48,746	40.7	45.8
15. 国庫支出金	1,221,894	302,301	24.7	15.7
16. 県 支 出 金	1,134,498	95,041	8.4	5.4
17. 財 産 収 入	26,351	11,405	43.3	50.1
18. 寄 附 金	1,316,318	276,738	21.0	11.9
19. 繰 入 金	1,652,830	0	0.0	0.0
20. 繰 越 金	495,149	495,149	100.0	100.0
21. 諸 収 入	694,315	78,612	11.3	13.3
22. 町 債	2,086,500	0	0.0	0.0
歳 入 合 計	18,119,581	6,974,995	38.5	36.4

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

歳 出

款別の状況は下表のとおりとなっている。

(単位：千円、%)

款	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率	前年度執行率
1. 議 会 費	106,429	53,307	50.1	51.0
2. 総 務 費	4,301,951	671,191	15.6	15.9
3. 民 生 費	3,293,919	1,185,207	36.0	34.5
4. 衛 生 費	1,189,169	508,228	42.7	39.5
5. 労 働 費	27,882	16,231	58.2	59.1
6. 農林水産業費	1,217,420	583,284	47.9	20.8
7. 商 工 費	1,308,789	272,175	20.8	21.0
8. 土 木 費	2,046,557	581,801	28.4	28.9
9. 消 防 費	876,901	424,099	48.4	45.2
10. 教 育 費	1,734,504	689,706	39.8	42.1
11. 災害復旧費	12,932	4,873	37.7	18.5
12. 公 債 費	1,976,846	1,019,383	51.6	43.9
13. 予 備 費	26,282	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	18,119,581	6,009,485	33.2	30.6

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

3) 特別会計歳入歳出予算の執行状況

歳 入

(単位：千円、%)

会 計 名		予 算 額	収入済額	収 入 率	前年度収入率
国民健康保険事業	事業勘定	2,046,161	613,844	30.0	28.7
	佐津診療施設	48,200	4,769	9.9	9.9
	兎塚・川会診療施設	33,737	2,290	6.8	8.5
	小代診療施設	146,557	26,548	18.1	18.5
	兎塚・川会歯科診療施設	82,392	22,649	27.5	25.2
後期高齢者医療保険事業		383,449	122,530	32.0	30.9
介護保険事業		2,570,547	997,095	38.8	38.0
財 産 区		1,567	1,353	86.3	91.7
町立地方卸売市場事業		1,209	0	0.0	0.0
歳 入 合 計		5,313,819	1,791,078	33.7	32.8

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

収入済額は1,791,078千円で前年同期と比べ17,290千円(△1.0%)の減額となっている。収入率では0.9ポイントの増となっている。

歳 出

(単位：千円、%)

会 計 名		予 算 額	支 出 済 額	執 行 率	前年度執行率
国民健康保険事業	事業勘定	2,046,161	637,651	31.2	30.3
	佐津診療施設	48,200	15,277	31.7	34.5
	兎塚・川会診療施設	33,737	11,468	34.0	38.4
	小代診療施設	146,557	50,282	34.3	31.9
	兎塚・川会歯科診療施設	82,392	32,662	39.6	42.1
後期高齢者医療保険事業		383,449	112,709	29.4	29.3
介護保険事業		2,570,547	974,662	37.9	37.4
財 産 区		1,567	3	0.2	38.2
町立地方卸売市場事業		1,209	848	70.1	26.5
歳 出 合 計		5,313,819	1,835,562	34.5	34.0

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

支出済額は1,835,562千円で前年同期と比べ38,899千円(△7.0%)の減額となっている。執行率は0.5ポイントの増となっている。

(2) 基金の状況

令和7年9月末現在の基金の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

基金名	区分	前年度末 残高	決算剰 余金積立	9月末までの 増減		9月末の 現在高
				積立金	取崩	
財政調整基金		3,927,375	379,000	3,461	0	4,309,836
減債基金		195,273	0	0	0	195,273
地域振興基金		1,624,007	0	1,642	0	1,625,649
温泉地域開発基金		65,936	0	4	0	65,940
ふるさとづくり基金		1,122,661	0	501	0	1,123,162
公共施設等管理基金		1,099,092	0	147	0	1,099,239
森林環境基金		32,869	0	12	0	32,881
交通安全対策基金		27,721	0	8	0	27,729
国民健康保険財政調整基金		57,042	5,583	26	0	62,651
佐津診療所財政調整基金		9	0	0	0	9
兔塚・川会診療所財政調整基金		2	0	0	0	2
小代診療所財政調整基金		61	0	0	0	61
兔塚・川会歯科診療所財政調整基金		105,902	0	29	0	105,931
介護保険事業基金		279,704	15,537	79	0	295,320
長井財産区財政調整基金		5,880	0	2	0	5,882
土地開発基金（現金のみ）		43,320	0	17	0	43,337
畜産振興貸付基金・ 畜産経営安定貸付事業		30,308	0	7	0	30,315
畜産振興貸付基金・ 肉用雌牛貸付事業		80,211	0	0	0	80,211
合計		8,697,374	400,121	5,934	0	9,103,429

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

(3) 地方債の残高状況について

令和7年度の起債残高見込額については下記のとおりとなっている。

(単位：千円)

会計名	前年度末 残高	今年度償還見込額		今年度 借入済 額	9月末残高	今年度借 入見込額	今年度末 残高見込額
		既償還額	償還 予定額				
一般会計	17,137,790	978,166	914,777	0	16,159,624	2,086,500	17,331,347
普通債	13,213,405	757,504	730,710	0	12,455,901	2,081,900	13,807,091
災害復旧債	444,908	20,645	16,223	0	424,263	4,600	412,640
その他債	3,479,477	200,017	167,844	0	3,279,460	0	3,111,616
国民健康 保険事業	42,335	2,103	2,104	0	40,232	1,300	39,428
佐津診療 施設勘定	2,856	161	161	0	2,695	0	2,534
兎塚・川会診 療施設勘定	2,156	233	233	0	1,923	1,300	2,990
小代診療 施設勘定	37,323	1,709	1,710	0	35,614	0	33,904
公立香住 病院事業	1,329,438	71,972	72,028	0	1,257,466	82,400	1,267,838
水道事業	2,535,348	106,501	107,207	11,700	2,440,547	253,400	2,586,740
下水道事業	9,087,552	556,234	559,621	0	8,531,318	788,600	8,760,297
計	30,132,463	1,714,976	1,655,737	11,700	28,429,187	3,212,200	29,985,650

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

地方債残高は今年度末で前年度末より 146,813 千円、率にして 0.5%減少し 29,985,650 千円となる見込みであり、町民 (14,913 人 10 月 1 日現在)一人当たり換算すると 2,011 千円で前年度と比べ 17 千円の減となっている。今年度の償還見込額については 3,370,713 千円を見込んでいます。

(4) 公立香住病院事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
医業収益(A)	550,793	553,164	△2,371	△0.4
医業費用(B)	751,587	711,934	39,653	5.6
うち減価償却費	66,860	61,625	5,235	8.5
医業損益(C) (A)－(B)	△200,794	△158,770	△42,024	—
医業外収益(D)	127,720	115,606	12,114	10.5
うち一般会計繰入金	122,170	110,502	11,668	10.6
医業外費用(E)	28,416	27,401	1,015	3.7
うち企業債利息	5,720	5,341	379	7.1
経常損益(F) (C)+(D)－(E)	△101,490	△70,565	△30,925	—
減価償却費を除く経常損益	△34,630	△8,940	△25,690	—
さらに一般会計繰入金を除く経常損益	△156,800	△119,442	△37,358	—
特別利益(G)	379	76	303	398.7
特別損失(H)	648	4,073	△3,425	△84.1
その他変動額(I)	0	0	0	—
上半期純損益(J) (F)+(G)－(H)+ (I)	△101,759	△74,562	△27,197	—

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

病院事業は、常勤医師7人、非常勤医師4人の計11人体制で業務が始まった。婦人科については引き続き鳥取大学からの支援医師による月1回の診療体制、精神科については公立豊岡病院からの支援医師により月2回の診療体制となっている。その他、総合診療科に1人、小児科に3人、耳鼻咽喉科に月2～3回の支援医師により、外来診療機能の維持確保と常勤医師、非常勤医師の負担軽減を図っている。

前年同期と比べ入院患者は、432人（△7.5％）減の5,300人となり、外来患者は305人（1.5％）増の21,324人となった。

病院事業全体としての医業損益は△200,794千円となり、これに医業外損益の99,304千円を加えた経常損益は△101,490千円となり、前年同期と比較して30,925千円悪化した。

上半期純損益は、△101,759千円となり、前年同期と比較して27,197千円悪化した。主な要因は、病院事業において外来患者数及び老健入所者数は増となったが、入院患者数の減などにより医業収益は減、医療外収益では一般会計繰入金が増加となったが、医療費用では給与費、委託費、減価償却費が増加している。

② 資本的収支について

収入は45,380千円、支出は93,585千円で収入不足額は48,205千円となっており、当年度分損益勘定留保資金48,205千円で補填している。

(5) 水道事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	156,931	157,268	△337	△0.2
うち水道使用料	154,578	153,307	1,271	0.8
うち受託工事収益	0	0	0	—
営業外収益	87,987	86,348	1,639	1.9
うち一般会計繰入金	42,003	39,107	2,896	7.4
特別利益	0	0	0	—
うち臨時利益	0	0	0	—
事業収益合計(A)	244,918	243,616	1,302	0.5
営業費用	254,266	266,477	△12,211	△4.6
うち原水及び浄水費	31,991	36,227	△4,236	△11.7
うち配水及び給水費	26,196	27,553	△1,357	△4.9
うち受託工事費	0	0	0	—
うち総係費	25,226	24,352	874	3.6
うち減価償却費	153,120	154,973	△1,853	△1.2
営業外費用	17,071	19,801	△2,730	△13.8
うち企業債利息	15,820	16,232	△412	△2.5
特別損失	170	134	36	26.9
うち臨時損失	170	134	36	26.9
事業費用合計(B)	271,507	286,412	△14,905	△5.2
上半期純損益(A)－(B)	△26,589	△42,796	16,207	—

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

今年度上半期の有収水量は 975,006 m³で前年同期に比べ 9,611 m³の増、率にして 1.0%の増となった。営業収益は 156,931 千円で前年同期と比べ 337 千円（△0.2%）の減額となっている。主な要因は、有収水量が増加したが、消火栓関係負担金が減少したことによるものである。

上半期純損益は△26,589 千円と前年同期と比べ 16,207 千円好転した。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は 39,900 千円で、支出は 134,644 千円で不足額は 94,744 千円となっている。

(6) 下水道事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	164,293	161,680	2,613	1.6
うち下水道使用料	163,660	161,213	2,447	1.5
うち受託事業収益	0	0	0	—
営業外収益	547,174	526,439	20,735	3.9
うち一般会計繰入金	329,633	330,723	△1,090	△0.3
特別利益	9	0	9	皆増
うち臨時利益	9	0	9	皆増
事業収益合計(A)	711,476	688,119	23,357	3.4
営業費用	473,147	678,854	△205,707	△30.3
うち管渠費	23,513	20,595	2,918	14.2
うちポンプ場費	1,504	1,532	△28	△1.8
うち処理場費	71,676	72,074	△398	△0.6
うち受託事業費	0	0	0	—
うち総係費	10,641	10,694	△53	△0.5
うち減価償却費	306,619	327,001	△20,382	△6.2
営業外費用	69,453	81,375	△11,922	△14.7
うち企業債利息	60,686	65,228	△4,542	△7.0
特別損失	208	303	△95	△31.4
うち臨時損失	208	303	△95	△31.4
事業費用合計(B)	542,808	760,532	△217,724	△28.6
上半期純損益(A)－(B)	168,668	△72,413	241,081	—

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

今年度上半期の下水道接続人口は 12,570 人、接続率 83.9%である。4月から 9 月までの有収水量は 695,500 m³で、前年同期に比べ 9,674 m³ (1.4%) の増となった。営業収益は 164,293 千円で前年同期と比べ 2,613 千円 (1.6%) の増額となっている。

上半期純利益は 168,668 千円と前年同期と比べると 241,081 千円増加し、黒字となっている。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は 295,240 千円で、支出は 557,929 千円で不足額は 262,689 千円となっている。

(7) 国民宿舎事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	0	0	0	—
営業外収益	1,379	2,947	△1,568	△53.2
うち指定管理者納付金	927	2,182	△1,255	△57.5
特別利益	0	0	0	—
事業収益合計(A)	1,379	2,947	△1,568	△53.2
営業費用	6,509	10,662	△4,153	△39.0
うち減価償却費	6,490	10,534	△4,044	△38.4
営業外費用	0	1	△1	皆減
うち企業債利息	0	1	△1	皆減
特別損失	0	0	0	—
事業費用合計(B)	6,509	10,663	△4,154	△39.0
上半期純損益(A)－(B)	△5,130	△7,716	2,586	—

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

今年度上半期の宿泊利用客は前年同期に比べ70人(△5.7%)減の1,161人となり、食事等利用客は37人(4.6%)増の843人となった。

上半期純利益は△5,130千円となっている。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は11,924千円で、支出は14,190千円で不足額は2,266千円となっている。

(8) 滞納繰越分の徴収状況

令和7年9月末現在の滞納繰越分の徴収状況は下記のとおりとなっている。

(単位：件、千円)

項 目		R7年度 滞納繰越額		R7.9月末 収入済額		R7.9月末 収入未済額	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般会計	町税	1,599	64,512	139	2,491	1,460	62,021
	使用料等	1,678	27,559	7	268	1,671	27,291
	小 計	3,277	92,071	146	2,759	3,131	89,312
特別会計	国民健康保険事業	639	21,155	114	2,296	525	18,859
	後期高齢者医療保険事業	5	487	4	145	1	342
	介護保険事業	87	770	8	96	79	674
	小 計	731	22,412	126	2,537	605	19,875
企業会計	公立香住病院事業	367	15,643	310	10,176	57	5,467
	水道事業	8,860	32,159	7,602	27,157	1,258	5,002
	下水道事業	6,528	47,570	5,945	30,278	583	17,292
	国民宿舎事業	1	400	1	400	0	0
	小 計	15,756	95,772	13,858	68,011	1,898	27,761
合 計		19,764	210,255	14,130	73,307	5,634	136,948

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

[定例監査結果における意見]

- 1 滞納繰越分について、新たな滞納を出さないように徴収に万全を期するよう努力されたい。